

活動結果報告書

2025 年 8 月 12 日

越前市議会

議長 大久保健一 殿

議員氏名 近藤 光広

下記のとおり報告します。

日 程 2025 年 8 月 8 日(金曜日)～ 8 月 10 日(日曜日)

活動先 東京都内

活動目的 『書のまちづくり』の議員提案に基づき更に発展を目指して視察、調査

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

・『生誕100年記念 小林抱牛展』を上野の森美術館にて、若越書道会 山田蘭石会長と視察。今企画展の実行委員長の阿曾優子氏と面会し、巨大な作品群を越前市に寄贈したい旨の件、同氏が越前市にお見えになった際打ち合わせさせていただいた件含め、今後の進め方を市職員交え協議。私自身も、かつて手島右卿先生を頭に越前市出身の小林先生率いる公益財団法人 独立書人団に所属していた関係上、作品の価値は国レベルの財産の為、越前市にとっては『書のまちづくり』を進め、全国や海外にも越前市をアピールするためにも貴重な財産となり得ると確信した。

・展覧会は8月10日に一部展示替えする旨にて、3日間拝観。

同館来館の前東京学芸大、岐阜女子大特任教授の伊藤 滋氏とも面会御教授有。

・山田蘭石会長と、書道博物館を視察。書道に特化した博物館は全国的には貴重な存在で、越前市の在り方を協議しながら拝観。今後に生かす素材もあり。

・山田会長と書家でもあり書評論家で膨大な本を執筆されている越前市ご出身の石川九楊先生をお訪ねし、これからの越前市の『書のまちづくり』のご指南を頂戴した。

これからの『書のまちづくり』の提案に生かしていきたい。

活動結果報告書

令和7年5月19日

越前市議会議長 大久保健一 様

議員氏名 近藤光広

期 日	令和7年5月15日(木)～16(金)
日 程	別添
活動先	明治大学 アカデミーホール
活動目的	自主研修（今後の議会活動の参考のため）

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要

今大会のプログラムは別添参照。

今大会にあたり、俯瞰的なメッセージをいただいた、当一般財団法人/理事長 穂坂邦夫氏の内容を記します。

『国と地方の役割分担の明確化で、自己責任の確立と行政経費のムダを削減～失われた30年を取り戻すために』と題された内容です。

埼玉県志木市長としての改革と限界

- ・基本理念「市民がオーナー、市長はシティマネジャー」
- ・市民のボランティアによる「市民委員会」設置
- ・公共事業に市民の意見を生かした「公共事業市民選択権保有条例」の実施
- ・特区構想として「市町村長の必置規定の廃止（市町村長の権限を議会に一任・議会による一元制）」を提案し、自治体の自由を目指した（欧米では当たり前）に運営
- ・他、「25人程度学級」の実現、「ホームスタディ制度」の設置、「地方自治計画・市民による行政パートナー制度」の導入計画立案、公表
- ・「収入役の必置規定の廃止」を国に構造改革特区を活用して提案

これまでの、国は木を見て森を見ない小手先の改革・・・公共サービス改革法、行政改革推進法、地方分権改革推進法、三位一体改革 等々

国家財政の悪化や東京一極集中が加速し続けるなか人口減少の懸念は、地方交付税の増額で杞憂に終わる「地方運営に対する住民の無関心」を生み、もはや地方自身による「自己責任の確立による自立」への思いは消え去ってしまった。

企業でも地域でも自己責任のないところに改革は困難で再生や創生の力は生まれてこない。地方が活力を取り戻すことが出来れば、出生率向上が生み出せる。

全国一律の制度や業務の重複による行政経費の削減も喫緊の課題

全国の地方自治体の全てが、一律的に運営されるように定め、自治体の自由な活動を著しく制限しているのが地方自治法で、これらについても検証し改廃することが必要。

例：国の補助による無駄が多い道路施工、義務教育における教職員の県と市町の課題

国と地方。都道府県と市町村の間に権限の錯綜や二重行政、現場の実態に合致しない全国一律の補助金行政などによって、膨大な行政経費のムダがある。

例：県立図書館の近くに市立図書館がある等々

地域によっては不要・不急な事業であっても、補助金が付けば必要な事業として実施され、必要な事業があっても補助金がなければ実施されないという現象が起きている。国庫補助金を改廃、縮小して、その財源を地方が自由に活用していくことが出来れば、行政のコストパフォーマンスは飛躍的に向上する。

官と民の役割分担、事業の民間開放、市と県との事業重複解消等々の行政経費削減で、
14兆953億円削減が可能（2008年穂坂氏監修/東洋経済新報社）

国の権威は、国が国民に対して多量の権限を保持することではなく、防衛や経済、通貨など国家存立の、いわば質の高い高度の権限を有していることが、その象徴であると置き換えてはいかがか。

わが国では、一度決定した「社会の仕組み」は変えてはいけなとする、国民の統一した意志があるように感じてならない。我が国も、社会の変化に応じて法令を変える、新たな勇気が求められているのではないか。

17年前に問題を提起した、少子高齢化の加速や財政環境の悪化を放置したまま、現在に至っています。いじめ問題や20年前に小中学校における教員派遣制度の廃止も手付かずのまま。

失われた30年を取り戻すため、地方の自己責任を確立し、地方自身が再生・創生に挑戦するとともに、多額にのぼる財政赤字を解消する膨大な行政経費のムダを無くすことが、新たな日本の創造を成し遂げるのではないかと。

私見総括：以上の穂坂先生の内容や他の先生方の内容を、さらに具体的に追及して国、県、市の課題を解消できるのを目標に提案していくことも、政務活動の一環として図っていきたい。

会場のご案内



- JR中央線 「御茶ノ水」徒歩3分（御茶ノ水橋口を出る）
- 地下鉄丸ノ内線 「御茶ノ水」徒歩5分
- 地下鉄三田/半蔵門/新宿線 「神保町」徒歩8分
- 地下鉄千代田線 「新御茶ノ水」徒歩5分

財団法人 日本自治創造学会
The Japanese Society for Local Democracy

理事長 穂坂 邦夫

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-24-301

（事務局）NPO法人地方自立政策研究所内

TEL 03-5846-9227

FAX 03-5846-9228

<https://jsozo.org>

E-mail: info@jsozo.org

第17回 2025年度 日本自治創造学会 研究大会

変容する社会・地方選挙 ～地方自治のあり方を問う～

日時

2025年 5月15日(木) 13:00～17:45

5月16日(金) 10:00～15:05

場所 東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

参加費 会 員 13,000円（年会費2,000円、2日間大会参加費・資料代含む）

※大学院生会員参加費 2,000円（年会費、2日間大会参加費・資料代含む）

非会員 15,000円（2日間大会参加費・資料代含む）

※大学院生非会員参加費 3,000円（2日間大会参加費・資料代含む）

懇親会 ～地域間交流会～（自由参加）2,500円

主催 財団法人 日本自治創造学会

第17回 日本自治創造学会 研究大会 プログラム

■ 第1日目 5月15日(木)

12:00	開場・受付
13:00～13:10	大会挨拶 穂坂 邦夫 ((財)日本自治創造学会理事長)
13:10～14:00	講演 地方自治における政治の復権 後 房雄 (名古屋大学名誉教授)
14:00～14:15	質疑
14:15～15:05	講演 日本の統治構造～官僚内閣制は議院内閣制になったのか～ 飯尾 潤 (政策研究大学院大学教授)
15:05～15:20	質疑
15:20～15:35	休憩
15:35～16:25	講演 ～JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦～ 地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について 井倉 義伸 (独立行政法人国際協力機構理事長特別補佐)
16:25～16:40	質疑
16:40～17:30	講演 地方自治のあり方を問う～地方自治の危機～ 金井 利之 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)
17:30～17:45	質疑
18:00～19:30	懇親会～地域間交流～“我が自治体の新たな挑戦をPRする”

■ 第2日目 5月16日(金)

10:00～10:45	講演 AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略 ～都知事選の経験から学ぶ～ 安野 貴博 (AIエンジニア・起業家・SF作家)
10:45～11:00	質疑
11:00～11:45	講演 ネット選挙に対応する～公職選挙法の改正とその行方～ 安野 修右 (日本大学法学部政治経済学科専任講師)
11:45～12:00	質疑
12:00～13:00	昼食 12:40～(財)日本自治創造学会総会
13:00～13:45	講演 領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～ 砂原 庸介 (神戸大学大学院法学研究科教授)
13:45～14:00	質疑
14:00～14:45	講演 高齢社会における大災害への対応と課題 浅野 大介 (石川県副知事)
14:45～15:00	質疑
15:00～15:05	閉会挨拶 牛山 久仁彦 ((財)日本自治創造学会理事・明治大学教授)

活動結果報告書

令和8年3月28日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 近藤 光広

下記のとおり報告します。

日 程 令和8年3月27日（金曜日）

活動先 近藤みつひろ日より

活動目的 越前市の取り組みや今後の政策を市民に伝える

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

印刷業者 伊部印刷株式会社

支払金額 157,300円

発行数 21,000部

内 容 別紙のとおり

配布業者 株式会社福井新聞社 福井新聞折込センター

支払金額 123,552円

配布数 17,550部

配布業者 株式会社福井広報センター

支払金額 16,907円

配布数 2,650部

デザイン ふくたび

支払金額 198,000円

越前市議会議員

近藤光広

(自書)

越前市の今を
お届けします！



令和8年3月発行

平林市長の市政方針を質問！越前市のこれからは？

今回の主なテーマ

主に3月議会の私の一般質問をお伝えします！

防災対策やまちづくり、子育て、スポーツをはじめ、市民の皆さまの暮らしに関わる大切なテーマについて考えを確認しました。

安全安心のまちづくり

Q 災害への備えは？

「防災力の強化」としてトイレトラック導入などを掲げています。高額な設備だが、どのように進めていくのか。

トイレトラックは、長期間の断水や下水道の被害が発生した際でも、避難者に衛生的で快適なトイレ環境を提供できる有効な手段です。

全国自治体が連携する「災害派遣トイレネットワーク」に加入することで、被災地支援や本市が被災した際の支援を受けることも可能になります。

導入にあたっては、国の交付金や有利な起債を活用しながら検討を進めていきます。

A

吉野瀬川ダムは現在試験貯水を開始しており、出水期までの完成を目指しています。

河川改修工事や護岸整備も進めており、令和10年度までの完成を予定。

さらに近年の豪雨災害に備え、河川の土砂撤去や樹木伐採などの浚渫工事を計画的に実施していきます。

A

Q 河川防災と治水対策

沖田川と吉野瀬川の浸水対策について、ダム整備後も含め、今後どのような強化策を考えているか。

浸水被害を受けて、監視体制を強化!!

令和6年6月23日、吉野瀬川と沖田川の合流地点で氾濫。

広範囲で浸水被害発生!!

これに対し改善策を求めたところ、昨年、監視カメラを設置し、誰でも沖田川の水位をネットで確認できるように改善!!

今後も安全安心なまちづくりに努めてまいります!!



▲福井県河川・砂防総合情報ホームページ

設置したカメラ▶



浸水した道路



市民の安全安心を
カタチに!!



ユネスコ登録をまちづくりに

Q ユネスコの成果を地域の力に

市はユネスコ創造都市ネットワーク加盟、越前鳥の子紙の無形文化遺産登録という大きな成果を得た。このユネスコ登録を、今後どのようにまちづくりに活かしていくのか。

市は令和5年10月に「文化県都メッセージ」を発表し、紫式部関連事業や国際木版画会議など文化事業を展開してきました。こうした積み重ねがユネスコ創造都市ネットワーク加盟、越前鳥の子紙の無形文化遺産登録につながったと考えています。今後は、世界408都市のネットワークを活用し、文化交流や経済の好循環、市民の誇り（シビックプライド）の醸成につなげていきます。

Q 世界の都市との新たなつながり

越前市はユネスコ創造都市ネットワークに加盟した。今後、どのような都市と交流を進めていくのか。

現在、世界408都市が加盟しています。まずは親和性の高いクラフト&フォークアート分野の都市との交流を進めていきます。国内では金沢市、丹波篠山市。海外では韓国晋州市などアジアの都市との連携を検討し、文化振興や伝統産業の発展につなげていきます。

「書道」は、文化庁からユネスコ無形文化遺産への登録を申請し、本年末頃登録見込みです。これも絶好のチャンスと捉え、越前市の書のまちづくりの取り組みを全国、そして世界に発信し、来訪者（観光客）や関係人口の拡大につなげていきたいと願い、私も協力していきます。

まちと食のにぎわいづくり

Q にぎわいを生む市民の力をどう捉えるか

中心市街地活性化の取り組みとして、市民主体の「ヒトバプロジェクト」が進められている。総社前通りや蔵の辻で開催された「たけふ祭り」も大変にぎわいました。こうした市民主体のまちなかの動きについて、市はどのように考えているか。

市民が主体となってまちを盛り上げる活動は大変重要であり、市としても継続して取り組めるよう支援していきます。今後も、まちなかの事業者や大学生など多くの人の声を聞きながら、中心市街地のにぎわいづくりを進めていきます。

Q ウォーカブルなまちづくり

以前から提案してきた、ウォーカブルなまちづくりの進捗はどのように進めているか。

中心市街地活性化プラン（R4～R8）に基づき観光サイン整備、空き店舗活用、出店支援などを進めています。現在まちなか開業件数11件（目標30件）。市民主体の活動とも連携しながら、まちのにぎわいづくりを進めていきます。

書のまちづくり

Q 書の文化をどう活かすか

私が提案した『書のまちづくり』『書の文化』をどう活かすのか？

越前市は杉本長雲先生をはじめとする多くの書家を輩出してきた地域です。古くから大陸文化の影響を受け、奈良時代には国府が置かれるなど文化の中心地として発展してきました。書の文化は「地域の宝」として、書道団体との連携や総合計画の中での位置付けなどを進めていきます。



Q 越前おろしそばの未来をどう守るか

越前おろしそばは越前市発祥の食文化です。後継者不足も課題となる中、事業継承を含め、どのように守っていくのか。

越前おろしそばのブランド力を高め、観光客増加、消費額拡大を目指します。また事業承継支援、後継者相談などを進め、地域の食文化を次世代へつなげていきます。



越前おろしそばをはじめとする地元の食文化、みんなで食べて応援していきましょう！



Q 書道寺子屋と和紙開発の進め方

書道寺子屋や書道用和紙の開発などにはどのように進めるのか。

寺子屋や和紙開発など、新しい取り組みを検討します。

① 現代版「書道寺子屋」

寺院の多い越前市の特徴を活かし、作法や礼儀を学びながら書に親しむ場づくりを目指します。

② 書道用の越前和紙の開発

書家の意見を取り入れた和紙を開発し、越前和紙のブランド力向上につなげていきます。

私自身、書道を50年近く続けています。「書」に焦点を当ていただき、書道に身を置く一書生として大変嬉しく思います。



持続可能な市政運営

Q 行財政改革に対する市長の考え

- ・行かなくても用事が済む DX 市役所
- ・持続可能な自治体経営
- ・地域自治の見直し

など、行財政改革が掲げられており、これらについて、市長の考えは。

大きな改革を一度に進めるのではなく、小さな改革や改善を積み重ねながら進めたいと考えています。また、DX化や外部専門人材の登用を図り、職員との対話も重ねることで、主体性や創意工夫を引き出し、組織全体の活力を高めながら、市政のさらなる向上につなげていきます。

教育・福祉政策

Q これからの教育環境づくり

教育政策では、小中一貫教育、地場産有機給食の拡大、認定こども園や子育て支援の充実などが掲げられている。特に小中一貫教育と有機給食について、市長の考えは。

少子化が進む中、保護者や地域との対話を重ねながら、市にとって最適な教育環境を検討していきます。

小中一貫教育については、地域の実情を踏まえながら、子どもたちにとって望ましい教育となる場合には選択肢として検討していきます。

学校給食では、有機米に加え地場産の有機野菜の活用も進め、食育の観点から学校給食での利用促進に取り組んでいきます。

A

Q 誰もが安心して暮らすために

公約に「ハンディキャップのある市民や厳しい状況にある市民の幸せの確保」などが掲げられている。誰もが安心して暮らせる地域づくりについて、市長の考えは。

障がいのある方や生活に困難を抱える方を誰一人取り残さない地域づくりが重要。当事者や家族、福祉事業者、地域の皆さんの声を聞きながら施策を進め、必要な支援につながる相談体制の充実を図ります。誰もが自分らしい幸せを実感できるまちを目指して取り組んでいきます。

A

Instagramをはじめました！



活動をアップしていきますので、ぜひフォローをよろしくお願いします！



スポーツと文化の拠点整備

Q スポーツ・文化施設の整備方針

「スポーツと文化で健康長寿」が掲げられている。スポーツ・文化施設の整備について、私からの要望もあったなか、具体的な取り組みは。

スポーツや文化は、心身の健康や地域の絆を育む大切な力。「第2期スポーツ推進プラン」などに基づき、市民が生涯にわたりスポーツや文化に親しめる環境づくりを進めています。

具体的には老朽化している武道館の改修、市文化センターの施設更新など、安全で快適に利用できるスポーツ・文化拠点の整備を進めていきます。

A

Q アーバンスポーツ施設の整備

スケートボードなどのアーバンスポーツ人口が増えている。越前たけふ駅周辺に、例えば民間活力で全天候型施設を整備すべきと提案してきたが、現在の取り組み状況は。

敦賀市でも同じような計画が進行中。越前市としての独自性を検討していくことも重要！



市総合計画 2023、スポーツ推進プランでは、越前たけふ駅周辺でのアーバンスポーツ施設整備を位置づけています。今年1月には BMX、スケートボード、スラックライン、パルクールなどの団体と意見交換を実施。今後も協議を重ねながら、越前たけふ駅周辺での整備に向け検討を進めていきます。

A